指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表　【 令和7年度分 】

施設名	大社文化プレイスうらら館	施設所管課	文化スポーツ課
指定管理者	公益財団法人出雲市芸術文化振興財団	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1．総合評価

市	【優れていると評価した点】 市内の中規模文化施設として、また、出雲市立大社図書館との複合施設という特徴も活かした地域の文化活動の拠点として多くの利用があった。加えて、各種文化団体で組織する「たいしゃ芸術文化祭実行委員会」を支援し、第16回出雲神在月市民芸術文化の祭典の会場地として企画運営を担うなど、地域における芸術文化の水準を高め、様々な活動への住民参加を促すよう努めている。
	【改善すべき点】 利用にあたっての意見等を参考に業務改善を重ね、多くの方に満足して利用いただけるよう努める必要がある。
指定管理者	【優れていると評価した点】 施設内の巡回、施設・設備の日常点検、利用者に注意を促す掲示板の設置などの未然防止の措置はもとより、万一の事故発生時の危機管理を確立しています。快適な施設環境の提供、平等な管理運営、来館者の満足を得られるような受付接遇、舞台運営を行っています。また、外部委託者と綿密な事前打合せを行い、館内外清掃を毎日行っています。また、自主事業のLPレコード鑑賞会が好評であり、来年度以降も継続を計画しています。
	【改善すべき点】 200席のごえんホールは、良好な音響効果を有する市内でも数少ない施設であり、だんだんホールに比べ安価で気軽に利用できるため、利用者からも良い評価をいただいています。しかし、市内利用者においても意外と知名度が低く、引き続き、600席のだんだんホールとの併設利用も含めた利用の拡大に努めます。

2．施設利用について

総括	令和７年度の利用収入実績は、前年度より1.5%増の17,464千円の利用料収入となりました。 主要ホールであるだんだんホールは、利用回数が137回と前年度比4回の減少となりましたが、利用者数は33,069人と前年度比956人の増、利用料収入においても前年度比126千円の増となりました。

⑴ 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

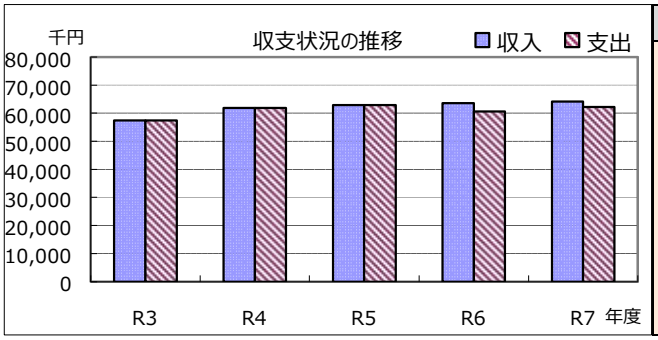
	項目	R3	R4	R5	R6	R7
施設の収支	収入	57,422	61,905	62,807	63,533	64,154
	うち指定管理料	44,605	44,087	45,635	46,048	46,293
	うち利用料	12,502	17,171	16,731	17,202	17,465
	その他	315	647	441	283	396
	支出	57,422	61,905	62,807	60,614	62,186
	差引	0	0	0	2,919	1,968

＜上記以外の市の収入、支出＞

（単位：千円）

	項目	R3	R4	R5	R6	R7
市の収支	収入（使用料）	0	0	0	0	0
	支出	3,390	4,593	10,357	3,640	1,833
	うち修繕費	0	2,145	3,746	1,395	0

※大規模修繕を除く

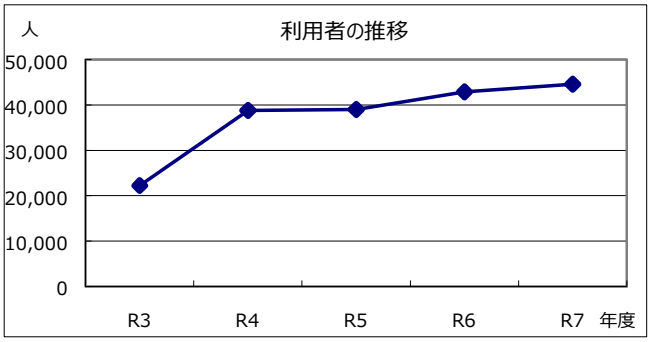


収入増・コスト削減に関する取組
前年度に引き続き光熱水費負担が大きかった。電気料金、灯油代金の高騰が原因である。利用料金収入は前年度を超えた。

⑵ 利用者の推移

（単位：人）

利用者	R3	R4	R5	R6	R7
	22,278	38,813	38,991	42,888	44,573



利用者の増に向けた取組・利用の動向
主要ホールの利用可数は微減したものの、多彩な催しが行われ前年度比3.9%増となった。ラウンジ（無料休憩スペース）やロビーも柔軟に開放し、マルシェ等の開催や催事等の休憩、子ども達や各種団体の打合せなど年間を通じて多くの利用がありました。

⑶ 利用者アンケート

アンケートの実施状況
アンケート等を通年で実施することで、日常的に「来館者の声や地域住民の声」を参考にしている。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス				主な意見（問題点）・対応（効果）
35 件	①非常に良い	32	件	91.4 %	苦情特になし
	②良い	3	件	8.6 %	
	③ふつう	0	件	0.0 %	
	④悪い	0	件	0.0 %	
	⑤非常に悪い	0	件	0.0 %	

⑷ 住民サービス向上の取組・事例

日常的に「来館者の声や地域住民の声」を参考にしている。
建築物・設備について、市担当課と協議して必要な改善に努めている。

3．自主事業について

総括	継続的に自主事業を企画している点は評価できる。今後も、出雲市総合芸術文化祭事業や出雲芸術アカデミー事業と連携して、多種多様な事業の実施に努めていただきたい。
実施状況	文化事業部と連携し、ＬＰレコード音楽サロンを開催し、市内外からの参加があり、ごえんホールの響きや、アカデミー学長等の講話が好評でした。

4．施設の維持管理・安全対策について

仕様書の内容のほか、職員の定期巡回時に清掃活動を行っている。
故障発生時に専門業者に、日常の管理方法等について積極的にアドバイスを求め、維持管理の参考にしている。また、年末に落雷被害を受けたが、市と連携し、迅速な機能復旧、代替措置、必要な予算確保に努め、貸館運営への影響を避けることができた。職員による巡回を行い、危険を想定し事故の未然防止に努めている。

5．職員（従業員等）の接遇・研修について

有資格者のほか、各種講習・研修会を通じて知識・経験をつませている職員を配置している。
財団職員としての自覚を持ち、真摯な態度で接客するよう研修を積んでいる。<逐次、気がついたときには話し合い>